



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月25日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東
コード番号 9353 URL <http://www.sakurajima-futo.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 谷本 祐介
問合せ先責任者（役職名） 取締役（経理部担当）（氏名） 佐藤 禎広（TEL）(06)-6461-5331
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,988	△2.3	103	△21.6	148	△11.4	112	13.5
2024年3月期中間期	2,036	9.3	131	180.7	167	80.3	98	△1.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △17百万円(—%) 2024年3月期中間期 717百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	74.21	—
2024年3月期中間期	65.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	9,980	6,211	62.2
2024年3月期	10,076	6,265	62.2

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 6,211百万円 2024年3月期 6,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	△0.3	170	△27.9	240	△28.5	160	△24.4	105.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	1,540,000株	2024年3月期	1,540,000株
2025年3月期中間期	23,148株	2024年3月期	28,022株
2025年3月期中間期	1,513,981株	2024年3月期中間期	1,509,146株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)のわが国経済は、社会・経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善等により、企業の経済活動や個人消費が緩やかに持ち直してきている一方、円安を背景とする原材料やエネルギーコストの高止まりや、世界的な金融引き締めの継続、海外景気の下振れ懸念などの景気後退リスクなどから、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、競争力のある事業基盤を形成し、全てのステークホルダーへの貢献を継続して達成することを目指しつつ、経営環境の大きな変化に対応するため、第4次中期経営計画(2024年度～2026年度)を策定し、更なる企業価値の向上に努めております。

産業構造の変化への対応として、必要な投資の検討・実施、また、既存設備への効率的なメンテナンスを実施していくことで、中長期的視点に立った事業ポートフォリオの継続的改善を行うとともに、新規ビジネスを開拓・育成することや地場産業との関係を深め、わが社の強みを生かした付加価値のある仕事を追求し、長期に亘り安定した収益を維持・拡大できる事業基盤の強化に努めてまいります。

ばら貨物については、安定したサービスを継続的にご提供するため、設備の更新工事を進めるとともに、採算改善に向け新たな設備投資を検討してまいります。液体貨物に関しても、メンテナンスを適時・的確に行い事業の安定性を高めるとともに、タンクの更新・新設を含めた設備投資を検討してまいります。また、倉庫事業に関しても、パートナー様と連携を強化し、収益改善に向け様々な取り組みを検討してまいります。

上記の事業活動を踏まえ、当中間連結会計期間の売上高は、1,988百万円となり、前年同期に比べ47百万円、2.3%の減収となりました。

売上原価は、設備投資により減価償却費が増加したものの、売上の減少に伴い荷役関係諸払費が減少したことなどから、1,599百万円となり、前年同期に比べ47百万円、2.9%の減少となりました。販売費及び一般管理費につきましては、業務改善に伴うコンサルティング費用や人件費の増加などにより、285百万円となり、前年同期に比べ28百万円、11.0%の増加となりました。

この結果、当中間連結会計期間の営業利益は103百万円となり、前年同期に比べ28百万円、21.6%の減益となりました。また、経常利益につきましては、受取配当金を収受したことなどから、148百万円となり、前年同期に比べ19百万円、11.4%の減益となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、112百万円となり、前年同期に比べ13百万円、13.5%の増益となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

(ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、保管業務においては、昨年度期中で大規模改修工事が完了した倉庫が期初より安定して稼働したことなどから増収となったものの、荷役業務において、主に石炭やイルメナイトの取扱数量が減少したことなどにより、ばら貨物セグメントの売上高は993百万円となり、前年同期に比べ46百万円、4.5%の減収となりました。ばら貨物セグメントの営業損失は85百万円となりました(前年同期は47百万円の営業損失)。

(液体貨物セグメント)

液体貨物については、タンクの稼働率が堅調に推移したものの、前期に収受したタンク運営に係る特別作業料が無くなったことなどから、液体貨物セグメントの売上高は715百万円となり、前年同期に比べ2百万円、0.4%の減収となりました。液体貨物セグメントの営業利益は277百万円となり、前年同期より8百万円、3.1%の増益となりました。

(物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、各倉庫が期初より安定して稼働したことなどにより、物流倉庫セグメントの売上高は266百万円となり、前年同期に比べ、1百万円、0.7%の増収となりました。物流倉庫セグメントの営業利益は117百万円となり、前年同期より29百万円、32.7%の増益となりました。

(その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、売電事業により、前年同期並みの12百万円となりました。その他のセグメントの営業利益は前年同期並みの6百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は9,980百万円となり、前連結会計年度末に比べて96百万円減少しました。これは借地料に係る前払費用(流動資産その他)や有形固定資産が増加したものの、借地料や固定資産の取得による支払により現金及び預金が減少したことや、保有する株式の時価の下落により投資有価証券が減少したことなどによるものです。

負債合計につきましては、保有する株式の時価の下落に伴い繰延税金負債が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて42百万円減少し、3,768百万円となりました。

純資産合計につきましては、利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて53百万円減少し、6,211百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前払費用の増加額などにより48百万円の資金減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは有形固定資産の取得による支出などにより535百万円の資金減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは長期借入による収入などにより143百万円の資金増加となりました。これらの結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は409百万円となり、前連結会計年度末に比べて440百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローでは、48百万円の資金減少(前年同期は149百万円の資金増加)となりました。これは税金等調整前中間純利益を148百万円、減価償却費を203百万円計上したものの、前払費用の増加額245百万円、売上債権の増加額49百万円を計上したことなどによるものです。なお、前払費用については、当社敷地に係る借地料の下半期6ヶ月分(10～3月分)を9月に支払っております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出を529百万円行ったことなどから535百万円の資金減少(前年同期は561百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローでは、長期借入金の返済による支出を94百万円行ったことや、配当金の支払額が44百万円あったものの、長期借入による収入が300百万円あったことなどから143百万円の資金増加(前年同期は134百万円の資金減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績等を踏まえ検討した結果、2024年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	850,472	409,538
売掛金	352,763	402,380
リース投資資産	729,407	687,295
貯蔵品	51,663	54,535
その他	77,222	312,719
貸倒引当金	△5,390	△5,087
流動資産合計	2,056,139	1,861,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,468,808	2,480,023
その他	866,528	1,145,456
有形固定資産合計	3,335,336	3,625,479
無形固定資産		
投資その他の資産	292,961	292,420
投資有価証券	3,936,862	3,750,033
その他	455,232	450,784
投資その他の資産合計	4,392,094	4,200,817
固定資産合計	8,020,392	8,118,717
資産合計	10,076,532	9,980,099
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,280	128,531
1年内返済予定の長期借入金	388,736	448,736
未払法人税等	80,601	42,709
賞与引当金	46,025	51,451
業績連動報酬引当金	15,400	—
その他	449,719	308,469
流動負債合計	1,072,763	979,897
固定負債		
長期借入金	1,205,120	1,350,752
繰延税金負債	913,958	853,557
環境対策引当金	60,106	52,367
退職給付に係る負債	3,267	3,354
資産除去債務	28,520	28,350
その他	527,385	499,973
固定負債合計	2,738,357	2,788,356
負債合計	3,811,120	3,768,253

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	367,530	369,925
利益剰余金	3,036,887	3,103,884
自己株式	△40,790	△34,050
株主資本合計	4,133,627	4,209,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,131,784	2,002,087
その他の包括利益累計額合計	2,131,784	2,002,087
純資産合計	6,265,411	6,211,846
負債純資産合計	10,076,532	9,980,099

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	2,036,186	1,988,789
売上原価	1,646,913	1,599,687
売上総利益	389,272	389,102
販売費及び一般管理費	257,461	285,791
営業利益	131,811	103,311
営業外収益		
受取利息	157	195
受取配当金	40,052	50,016
その他	6,627	9,509
営業外収益合計	46,838	59,721
営業外費用		
支払利息	9,451	12,228
遊休設備費	1,787	1,791
その他	-	678
営業外費用合計	11,238	14,698
経常利益	167,411	148,333
特別利益		
固定資産売却益	599	2,699
特別利益合計	599	2,699
特別損失		
固定資産除却損	10,704	2,277
特別損失合計	10,704	2,277
税金等調整前中間純利益	157,306	148,755
法人税、住民税及び事業税	62,925	39,668
法人税等調整額	△4,608	△3,268
法人税等合計	58,317	36,399
中間純利益	98,989	112,356
親会社株主に帰属する中間純利益	98,989	112,356

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	98,989	112,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	618,504	△129,696
その他の包括利益合計	618,504	△129,696
中間包括利益	717,494	△17,340
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	717,494	△17,340

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	157,306	148,755
減価償却費	154,034	203,598
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△255	△303
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,611	5,425
業績連動報酬引当金の増減額(△は減少)	-	△15,400
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,256	87
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	13,935	9,826
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△2,501	△7,738
受取利息及び受取配当金	△40,210	△50,211
支払利息	9,451	12,228
有形固定資産売却損益(△は益)	△599	△2,699
有形固定資産除却損	10,704	2,277
売上債権の増減額(△は増加)	△23,696	△49,617
棚卸資産の増減額(△は増加)	△706	△2,871
仕入債務の増減額(△は減少)	23,458	36,250
未払又は未収消費税等の増減額	90,617	△24,370
前払費用の増減額(△は増加)	△255,248	△245,251
リース投資資産の増減額(△は増加)	40,281	42,112
その他	△14,754	△75,284
小計	165,173	△13,184
利息及び配当金の受取額	40,210	50,211
利息の支払額	△9,422	△11,490
法人税等の支払額	△46,247	△73,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,712	△48,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△553,568	△529,032
有形固定資産の売却による収入	600	2,700
有形固定資産の除却による支出	-	△1,959
その他	△8,593	△7,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△561,562	△535,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△400,000
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△75,062	△94,368
リース債務の返済による支出	△6,025	△8,435
自己株式の増減額(△は増加)	9,450	9,134
配当金の支払額	△44,923	△44,982
その他	△18,192	△18,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,752	143,099

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	△45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△546,517	△440,934
現金及び現金同等物の期首残高	934,597	850,472
現金及び現金同等物の中間期末残高	388,080	409,538

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,040,551	718,713	264,454	2,023,719	12,467	2,036,186	—	2,036,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,040,551	718,713	264,454	2,023,719	12,467	2,036,186	—	2,036,186
セグメント利益又は損失 (△)	△47,025	269,656	88,822	311,453	6,225	317,678	△185,866	131,811

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△185,866千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	993,994	715,833	266,432	1,976,261	12,528	1,988,789	—	1,988,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	993,994	715,833	266,432	1,976,261	12,528	1,988,789	—	1,988,789
セグメント利益又は損失 (△)	△85,783	277,889	117,904	310,010	6,078	316,089	△212,777	103,311

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△212,777千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。